

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



実りの秋がやってきた！



OCT.2021

10

No.720



旧亀石坊 庭園

場所

町営バス神宮下バス停
から徒歩 1 分
英彦山神宮参道沿

見頃

11月上旬～中旬



英彦山大権現 英彦山大権現別院

場所

【英彦山大権現】
町営バス湯の山バス停から
町道大南線方面へ徒歩 10 分
【英彦山大権現別院】
町営バス湯の山バス停から
北側へ下り徒歩 5 分

見頃

11月上旬～中旬



旧政所坊庭園

場所

町営バス神宮下バス停から
徒歩 10 分
添田町埋蔵文化財収蔵庫
(英彦山修験道館) 前

見頃

10月下旬～11月中旬



銅の鳥居～ 英彦山神宮参道

場所

国道 500 号沿
町営バス銅の鳥居バス停
から徒歩 1 分

見頃

11月上旬～中旬



豊前坊 高住神社

場所

国道 500 号沿
町営バス豊前坊バス
停から徒歩 1 分

見頃

10月下旬～
11月上旬

燃えるような朱色 色づく秋の山々

自然豊かな添田町。毎年、秋には町内の至るところで紅葉が始まり、人々を楽しませます。紅葉の名所が多い添田町で、特に美しい場所が多い英彦山。今回は、数多くある英彦山の紅葉スポットから、その一部を紹介します。コロナ禍の秋ですが、密を避け、感染対策をして色あざやかに染まる英彦山へ出かけてみませんか。

☎ 役場まちづくり課観光振興係 (☎82-1236)

※注…見頃は予想です。紅葉の鑑賞や撮影は、法令やマナーを守ってください。路上駐車は危険です。車は所定の位置に駐車してください。紙面の都合上、掲載写真はモノクロですが、実際は目を奪われるほどの絶景ばかりです。鑑賞の際はマスクの着用、密を避けるなどの感染症対策をしてお楽しみください。

添田公園

油木ダム

SOEDA
TOWN

銅の鳥居

旧亀石坊庭園

英彦山大権現
英彦山大権現別院

高住神社

旧政所坊庭園

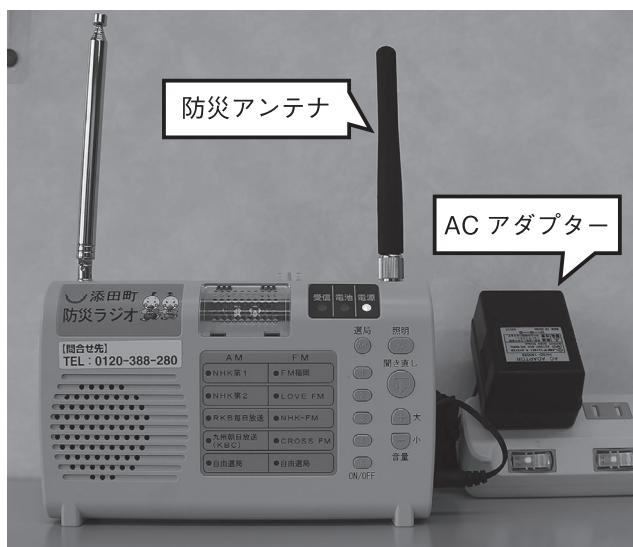
防災ラジオに関する 大切なお知らせ

8月から配布の始まった防災ラジオ。地区毎の配布で受け取れなかった世帯を対象に休日配布を10月10日(日)10時～16時、夜間配布を10月11日(月)10時～19時までの間で役場庁舎ロビーにて行います。この配布会にも都合が悪く受け取りに来れない場合は個別に対応しますので、問い合わせください。



使用上の注意事項

- ▶ 防災無線用アンテナ（黒色）は、ネジにゆるみがないよう確実に取り付けてください
- ▶ ACアダプターと乾電池は常に入れたままにしてください。普段はACアダプターから電源を確保し、停電時のみ乾電池から電源を確保します。また、乾電池は1年に1度、交換をお願いします
- ▶ 落下した際に、故障しない高さに設置してください
- ▶ 防水構造ではありません。水のかかる場所での使用は控えてください
- ▶ 防災ラジオは町の備品です。譲渡、貸出などは出来ません。また、故意や過失で無くしたり壊したりしたときは、弁償してもらうことがあります。大切に使いましょう
- ▶ 町からの放送受信後、右の①（防災ラジオ中央上部の照明）が赤く点滅します。防災ラジオには直前1件の放送を録音する機能があり、放送を録音したお知らせとして①が赤く点滅します。その際は、②（聞き直しボタン）を押して、録音された放送を聞き直すと点滅が解除されます



試験放送のお知らせ

- ▶ 試験放送日時 10月13日(水)午前10時から
- ▶ 試験放送内容 【上りチャイム】「こちらは防災添田町です。ただいま、防災ラジオの試験放送を行っています。繰り返します。こちらは防災添田町です。ただいま、防災ラジオの試験放送を行っています。これで試験放送を終わります」【下りチャイム】

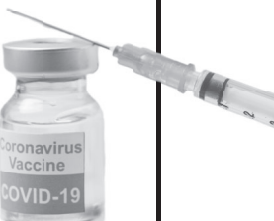
※試験放送を受信できなかった時は、役場防災情報管財課防災安全係までお知らせください。正常に受信した場合は、防災ラジオ中央上部の照明が赤く点滅しますので、留守の時などは帰宅後に確認ください。

事業所への配布について

- ▶ 配布対象 町内事業所、1事業所につき1台
- ▶ 配布日程 10月18日(金)～10月22日(金)10時～16時、役場庁舎2階⑭番窓口（防災情報管財課）にて受付
- ▶ 必要書類 申請書（町ホームページ、町商工会、添田町役場で取得できます）に必要事項を記入のうえ、申請に来られる人の本人確認用の身分証と、町内に事業所がある事を確認できる書類（事業所の申告・届出書の写し、宛名のある郵便等）を持参ください。町商工会会員の場合は、本人確認用身分証のみで借用できます。

新型コロナワクチン接種 個別接種のお知らせ

本年5月から開始したコロナワクチンの集団接種は、町民の皆さんと町内医療機関の協力で9月20日現在、1回以上接種した人は7,077人となり、接種対象者の約82%の人が接種を終えることができました。今後は、新型コロナウイルス感染症の発生防止、重症化予防の観点から、ワクチン接種を希望する方の接種機会を確保するため、接種方法を集団接種から町内医療機関での個別接種へと変更し、ワクチン接種を継続実施します。



個別接種について

- ▶ 個別接種は集団接種と同様にファイザー社製ワクチンを使用します
- ▶ 接種は、ワクチン1つの容器から6回接種が出来ることから、有効利用のため、6人1グループで行います。そのため、接種日時についてはご希望に沿えない場合があります
- ▶ 今年度12歳になる人へは、誕生月の月初めに発送します
- ▶ 具体的な日時、接種医療機関については、予約受付時に調整します
- ▶ 医療機関では通常診療が行われています。ワクチン接種時に待ち時間があることもございますので、ご了承ください
- ▶ ワクチン接種は強制ではなく、本人の意思に基づき実施されるものです。接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方を理解したうえで、自らの意思で接種を受けてください

個別接種実施 町内医療機関	月	火	水	木	金	土	接種時間
宮城内科胃腸科医院	-	○	○	-	-	○	▶ 月・火・水・木・金曜日 ⇒14時～17時の間で1時間
中山医院	○	-	○	-	○	-	
川口医院	-	○	-	-	-	-	▶ 土曜日 ⇒9時30分～12時の間で1時間
柳瀬外科医院	-	-	○	-	-	-	
雪竹医院	-	-	-	○	-	-	▶ 日曜日・祝日 ⇒接種を行いません
勝野内科クリニック	-	-	○	-	-	-	
庄宮城医院	○	○	-	○	○	○	

個別接種の予約方法

- 町ワクチン接種コールセンターに電話で予約ください。
- ▶▶ 添田町ワクチン接種コールセンター ☎：88-5620
（受付時間 9時～17時 ※土曜日・日曜日・祝日を除く。）
- ※予約受付後、接種日時などを記載した予約票を送付します。
- ※聴覚や発語に障がいのある方は、FAX（82-5222）で予約を受け付けます。
- ※各医療機関では受け付けしません。接種予約は必ずコールセンターに電話ください。

▶ ワクチン接種状況（9月26日時点 VRSによる情報です）

町ワクチン接種 対象人口		接種状況	
		1回目終了	2回目終了
65歳以上	4,054人	3,713人(92%)	3,668人(90%)
12～64歳	4,609人	3,364人(73%)	2,623人(57%)
合計	8,663人	7,077人(82%)	6,291人(73%)

新型コロナウイルス感染症に関する相談のお知らせ

- ▶ 医療機関の受診に関する相談
発熱等の症状のある人は、まずはかかりつけ医に相談ください。相談先に迷った場合は、田川保健所受診・相談センターに電話してください。
▷ 田川保健福祉事務所（受診・相談センター）☎：42-9379
▷ 夜間・休日は新型コロナウイルス感染症一般相談窓口 ☎：092-643-3288
- ▶ 新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談
▷ 健康相談、困りごとについては新型コロナウイルス感染症一般相談窓口へ ☎：092-643-3288（24時間対応）
▷ 医療機関や福祉施設に対する感染症対策支援や慰労金、「感染防止宣言ステッカー」などについては事業者向け支援・相談窓口へ ☎：092-643-3599（平日9時～18時）

津野小学校 休校へ

教育のひろば

●8月26日に行われた、教育委員会定例会及び令和3年度第1回添田町総合教育会議で、津野小学校が令和4年3月末で休校することを決定しました。今回は、現在の津野小学校の現状や、休校に至った経緯をお知らせします。

園役場教育委員会学校教育課学校教育係
(☎ 82-5963)

▼休校に至った経緯

令和7年度の町内小学校統合を控え、令和4年度以降の津野小学校への通学意向調査を5月に、5年生以下の保護者へ実施しました。

町教育委員会としては、こうした通学意向調査の結果や今後の新入学児童数の状況などから、令和4年度以降の津野小学校の運営について、現在の児童数では学校としての教育活動自体を続けることは困難と判断したことから、8月6日、津野公民館において、津野地区住民や保護者を対象とした現状説明会を行い、意見を伺いました。

その後、8月26日の教育委員会定例会において現状説明会で頂いた意見などを参考に、休校又は閉校など今後の学校運営について検討しました。令和7年度には町内小学校が統合し、学校の閉校は決まっていることから、令和4年度から令和6年末までは閉校ではなく休校が望ましいとし、町長などを行う総合教育会議での協議を経て、令和4年度以降、津野小学校を休校することと決定しました。

今後は、来年度から他の小学校に通学することになる児童が不安なく過ごせるよう、環境整備を進めていきます。

▼津野小学校の現状

令和3年度津野小学校の児童数は3学級10人で、学年別では10人のうち4人が現在6年生です。6年生4人が卒業すると、来年度の在校生は6人となります。津野小学校は平成26年度から小規模特認校となっており町内他校区より3人の児童が通学しています。児童数は年々減少しています。

◎津野小学校 児童数の推移

年度	児童数 (うち特認校就学児童数)
平成24年度	19
平成25年度	17
平成26年度	16 (うち2)
平成27年度	19 (うち4)
平成28年度	19 (うち2)
平成29年度	18 (うち2)
平成30年度	14 (うち3)
令和元年度	13 (うち3)
令和2年度	14 (うち3)
令和3年度	10 (うち3)

◎町内小学校の学級数・児童数 (令和3年度)

学校名	学級数	児童数
津野小学校	3	10
添田小学校	13	259
中元寺小学校	7	45
落合小学校	5	24
真木小学校	7	53
計	35	391

PICK UP TOPICS

添田の中・高校生が
県大会、全国大会へ

少年の主張

添田中3年、城戸さん 県大会で優秀賞

添田中学校3年生の城戸陽伽里さんが9月5日に行われた少年の主張福岡県大会に田川地区代表として出場し、優秀賞を受賞しました。県内の地区大会などの選抜を経た126件の応募から18人の中学生が、自分たちの熱い



↑ビデオ撮影に臨む城戸さん

思いを訴えたこの大会。今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、県大会はビデオ撮影による発表者の動画審査に変更となりました。城戸さんは「相手を見つめる」をテーマに、苦手だった友人のいつもと違う一面に触れ、そこから友人の色々な「良さ」、自分にはない良いところを発見した経験を発表。「苦手な人と距離をとる」を実行することで、相手を冷静に観察し今まで見えなかった一面を発見できる、距離をとることは関わりを断つことではなく、相手を見つめること。それは、自分自身を見つめ直すことにもつながると発表し、堂々の優秀賞受賞となりました。9月15日には、優秀賞賞状と盾を町青少年育成町民会議照瀬保道会長から渡されました。城戸さんの発表した少年の主張全文は町ホームページで読むことができます。



↑優秀賞の賞状と盾を贈られ笑顔の城戸さん㊟と照瀬会長㊟

野球

添田町出身の水口さん 第25回全国高校女子硬式野球選手権大会で優勝

女子高校野球の強豪、神戸弘陵学園(兵庫県)3年生の水口華緒さん(庄中)が兵庫県で行われた第25回全国高校女子硬式野球選手権大会で見事優勝を果たしました。水口さんは添田小学校1年生の時に添田フリースで野球を始め、中学生の時は西田川レズ(田川市)に所属。中学3年生の時に神戸弘陵学園からスカウト

を受け、同校に進学し野球部に所属します。全国から40チームが出場した同大会、水口さんは1回戦でホームランを打つなど、チームの勝利に貢献。決勝戦は女子野球の公式戦で初めて、高校野球の聖地「阪神甲子園球場」で行われ、神戸弘陵学園は高知中央高等学校に4対0で勝利し、優勝を果たしました。



←表彰式後、優勝メダルを胸に笑顔の水口さん

↓1回戦の佐伯高校(広島県)戦では勝利に貢献するホームランを放ちました



添田町第6次総合計画

『みんなでまちづくり』 想いを動画で配信中

令和3年3月に策定した第6次総合計画は、「いつまでも健康で住み続けられる・住みたくあるまち」を10年後のありたい姿（将来像）として、将来像実現のため6つの柱（施策別のありたい姿）を定め、達成目標や現状と課題、具体的な取組を記載しています。しかし、町の取組・事業だけでは将来像を実現できません。住民、町内で活動する企業・団体など、皆さんとそれぞれ目標（将来像）を共有し、自分たちのできることに取り組むことが重要となります。

皆さんが日頃から取り組んでいる「自宅周辺の清掃」や「健康づくり」、「子どもの登下校見守り」など、何気ない取組が将来像実現のために欠かせないものです。それらの取組を「見える化」し、「共有・共感」することで、「それくらいなら自分もやってみよう!」、「こんな取組をしているなら自分も一緒にやりたい!」と支援の輪が広がり、その積み重ねが将来像の実現、【みんなでまちづくり】に繋がります。そこで、今年度は【みんなでまちづくり指針】の策定に取り組んでいきます。まずは一人ひとりが無理のない範囲で、自分事としてできることから始めることが大切です。【みんなでまちづくり】について、ご理解・ご協力をお願いします。



→第6次総合計画の詳細や寺西町長の動画配信はこちらの町ホームページで視聴できます



動画配信における寺西町長メッセージ

第6次総合計画にこめる想いを動画で配信いたします。本年3月に策定した第6次総合計画について、本来であれば地域別の説明会を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症による度重なる緊急事態措置等の状況を踏まえ、感染拡大防止の観点から、町民皆さんの身の安全を守り、ご負担を掛けないために、このような判断とさせて頂きました。

本町において、このような情報発信は初めての試みです。行政的な堅い内容となっておりますが、一人でも多くの方に視聴いただいたうえ、「みんなでまちづくり」への想いを共有し、次の第一歩を踏み出していただけると幸いです。

添田町長 寺西明男

町道英彦山線(英彦山神宮参道)の修景工事を行っています

通行の際はご注意ください

平成30年度より令和4年度の予定で、町道英彦山線(英彦山神宮参道)の了乗坊跡付近の西坊跡付近間、通行制限、片側通行止め、工事期間、令和4年1月20日(予定)までの8時~17時、工事業者(株)湊建設、※日曜日や時間外には原則として作業を行ないませんが、工程上やむを得ない場合には、工事を行うことがあります。

※作業は通行者の安全に配慮して行いますが、十分ご注意ください。

※町道英彦山線(英彦山神宮参道)内は、「片側通行止め」による工事のため、片側の歩行による通行は可能ですが工事内容により、一時的に通行止めとなる場合があります。また、町道西谷線との交差点は、1車線ずつの通行止めにより工事を行います。その間については片側交互通行となります。

役場まちづくり課歴史文化財係(☎82-1236) 役場道路整備課用地維持係(☎88-8777)

町道英彦山線(英彦山神宮参道)

了乗坊跡

西坊跡

スロープカー花駅

奉幣殿

今後の工事予定区間(令和4年度)

工事完了済区間(平成30~令和2年度)

添田町加工品販売促進支援事業補助金

加工品の製造・販売促進に係る取り組みを支援します



町で加工品の開発や販路拡大、販売促進のための取り組みを行う人を対象に、経費の一部を支援します。

- 対象者（以下の全てを満たす人）
 - ▷添田町の住民、又は添田町で事業を営んでいる人
 - ▷添田町の農産物等を使用した加工品の製造を行っている人、又は添田町の特産品としての加工品を製造している人
 - ▷自ら意欲的に販路拡大や販売促進に係る活動を行う人

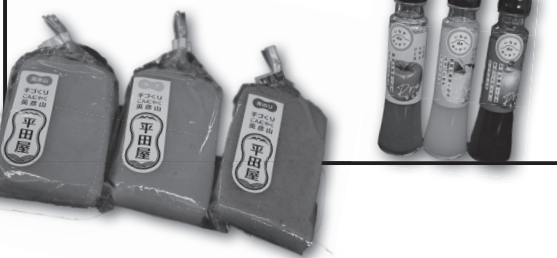
- 対象経費
 - ▷イベント参加経費
 - ▷広く配布する試供品、試食品などの作成経費
 - ▷商品ラベルなどの開発経費、商談に係る経費
 - ▷後継者育成のための経費、新商品開発のための経費 など

- 支援金額 対象経費の4/5（上限額4万円）

- 申請書 添田町役場地域産業推進課有害鳥獣係で準備しています。また、町ホームページにも掲載しています。

- 募集人数 5団体（者）程度

☎ 役場地域産業推進課有害鳥獣係 (☎ 82-1237)



『新規就農』 支援します

自営就農・半農半X 希望者募集中です

町では、①専業農家を目指す人②半農半X（農業を営みながら他の仕事にも携わり、双方に必要な所得を確保するライフスタイル）を目指す人への就農・営農を支援します。

新規就農については、就農相談から営農支援まで一貫した支援を実施するため就農専属アドバイザーを設置。相談は事前予約制で、火曜・木曜を原則に先着順で受け付けています。支援を希望する人は、下記の要件等を確認の上、まずは就農相談をお申込みください。

- 応募要件
 - ▷添田町内に住民票がある人、又は研修期間終了後までに、原則として添田町内に住民票を移し定住しようとする人
 - ▷研修開始時における満年齢が、18歳以上65歳以下で農業に積極的に取り組む意欲のある人
 - ▷普通自動車免許を所持している人、又は研修開始時まで取得することができる人
 - ▷健康で体力に自信のある人
 - ▷就農に向けて、しっかりとしたビジョンを持っている人
 - ▷町税等の滞納がない人

- 研修期間
 - ①専業農家を目指す人 ▷町内の農家の下で半年間の実践研修を行います。ただし、農業に対する基礎知識未習得者の人に対して、事前の就農相談の際に福岡県農業大学校への入学を勧める場合があります
 - ②半農半Xを目指す方 ▷町内の農家の下で半年間の研修を行います。その際に、半Xについての相談も受けます

- 研修コース
 - ①専業農家を目指す人 ▷野菜 ▷花き など
 - ②半農半Xを目指す人 ▷野菜
- 研修費用 受講料は無料
- 研修助成金 有り
- 募集期間 随時（事前に要就農相談を受けること）
- 審査方法 書類・面接
- 応募方法

事前に就農相談を実施し、就農計画を作成の上、申込書を下記まで提出してください。申込書は就農計画作成時に渡します。

☎ 役場地域産業推進課内】添田町就農支援推進協議会 (☎ 82-1237)



庭師・東森堂が手掛けた 中島家庭園

国指定重要文化財中島家住宅には、岩石山を借景した庭園があります。現在行われている中島家住宅保存修理工事には庭園の保全工事は含まれていませんが、地域有志の方々により保全されている庭園に触れてみましょう。

中

島家住宅は主屋や酒蔵、醬油蔵などが国の重要文化財指定を受けており、建物のみが注目されがちですが、岩石山を借景とした庭園も一見の価値があります。借景とは遠くの山などの景色を庭の一部であるかのように利用して、庭園を見せる手法です。中島家の庭園はブリヂストンタイヤ創業者の石橋正二郎の別荘「水明荘」(久留米市)の庭園を手掛けた東森堂という人物が作庭しました。

東

森堂は明治3(1870)年に久留米で生まれ、本名は末八といい、幼いときに姉の嫁ぎ先である東丑五郎の養子となっています。養父の丑五郎は長崎市小島町の八剣神社の神官でしたが、香港に渡り髪切り

の修行をし、帰国すると久留米で散髪屋を開き、人気を集めたと言われ、森堂も手伝っていたようです。森堂が造園に興味を持ったのは30歳頃で、庭園に関する書物を読んだり、お盆の上で石や砂などを配して、自然の景色をかたどる盆景などを作ったりして、庭作りの勉強をしました。

自然の景色こそが手本であるとし、耶馬溪や英彦山、雲仙などの景勝地を巡り、感銘を受けたと言われています。森堂が作庭した庭園は福岡県内をはじめとして、佐賀や大分、熊本などにもあり、遠くは兵庫や大阪などでも作庭したようです。自身が手掛けた庭園のなかでも、水明荘や中島家住宅の庭園は満足した出来映えのものとして記

現

在、中島家庭園は東屋が撤去され、庭園を囲んでいた竹垣はブロック塀となっているため庭園の風情が失われており、樹木の成長により庭園背後にそびえ立つ岩石山は眺めにくくなっていますが、地元の方々との協力により草刈りを行い、庭園の保全に努めています。【文・西山紘二学芸員(まちづくり課歴史文化財係)】



↑中島家庭園から岩石山を望む(昭和初期頃)

参考文献:永松義博「東森堂の作庭について」(『造園雑誌』50巻4号 1987年)

黄金色の田んぼで美味しい収穫

中元寺小学校で稲刈り

中元寺小学校の5年生が9月21日、小学校前の田んぼで稲刈り体験を行いました。例年は全校生徒で行っていましたが、今年は昨年に続き新型コロナ感染防止のため、学校を代表して5年生のみで実施。5月に児童たちで植えられた苗は、中元寺川のきれいな水と、中元寺の自然を愛する会(宮金美樹会長)の皆さんによる管理のおかげで、大きな黄金色の稲穂をつけていました。児童たちは宮金会長の指導のもと、汗を流しながら鎌を使い稲穂をどんどん刈っていきます。田中望夢くんは「1年生から稲刈りをしてきて今年が一番大変だったけど、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。収穫したお米は荒谷清一さん(下中元寺)が乾燥した後、中元寺小学校に届けられ、給食などで使われます。

↑台風一過の晴天の中、鎌を使って上手に収穫する中元寺小5年生の児童たち



↑みんなで収穫したお米は3俵2斗。給食でたくさん食べてください

町内小学校に文房具セットを寄贈

赤い羽根共同募金

添田町社会福祉協議会が赤い羽根共同募金を利用し町内の小学校に文房具セットを寄贈しています。9月27日には添田小学校6年生の深見悠斗さん、井元



↑寄贈された文房具は鉛筆やのりなどのセットです

結生さんが児童を代表して、社会福祉協議会田中事務局から文房具セットを渡されました。2人は「6年生は普段から協力して1年生のお世話をしています。色々な人に親切にできるようにしたいです。」と話していました。

野鳥の巣箱作りにチャレンジしたよ

津野小児童が木工体験

8月27日、津野小学校で、林業クラブの皆さんを講師に迎え、4年生2人が野鳥の巣箱作りに挑戦しました。電動糸ノコを使い、巣箱の入口



↑トントントンと手際良く釘を打ち付ける児童

となる丸い穴を開けるとときには、真剣な表情でゆっくりと慎重に操作していました。それぞれのパーツを釘で打ち付けて組み立て、やすり掛けをして完成。無事野鳥が住んでくれるのを楽しみにしているようでした。

文芸歳時記

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

溪川の水音清かに夕暮は

アメリカでホームランダービー大谷の

翔平の名の響き良かりき

梅雨の雲被さる日々の束の間を

入道雲は夏の空待つ

コロナ禍は合いたい時も語りたい

夫の作業手伝いをるに釘を打つ

手元震へて的を外せり

線状降水帯我が住む町に

かかるなかれと祈り見る雲

わがもの顔でたむろしてをり

どうせなら一度の人生悔いもなく

気の向くままにやりたいだけさ

【俳句 投稿】

階は天狗の歩巾秋高し

足止めてしばし眺める茄子の花

コロナ禍や田に櫓穂の伸びるまま

【川柳 投稿】

幸せをみんなに広げる赤い羽根

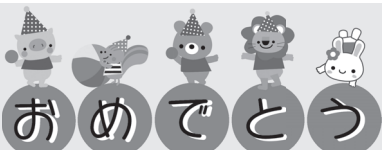
いい笑顔人の心を和ませる

●11月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

問 役場総務課広報・秘書係(☎82-4000)

10月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY



なみ
植田 南海ちゃん
10月4日生 ☎・庄西

3歳までのお子さんを募集します

- ①お子さんの写真
- ②お子さんの氏名
- ③名前の読み方
- ④誕生日
- ⑤年齢
- ⑥行政区
- ⑦メッセージ(50文字以内)
- ⑧保護者の連絡先を送信してください。

11月生まれの締め切りは10月15日(金)です。

お誕生日おめでとう～我が家のアイドル♡最近甘えんぼううだけど、たくさんおしゃべりできるね！みんなで楽しくすごそうね♡

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

試験

自衛官採用試験

- 【高等工科学学校（一般）】
- ▼試験日 令和4年1月22日（土）23日（日）
- ▼試験会場 小倉駐屯地（北九州市）
- ▼申込期間 11月1日（月）～令和4年1月14日（金）
- 【高等工科学学校（推薦）】
- ▼試験日 令和4年1月8日（土）11日（火）
- ▼試験会場 福岡駐屯地（春日市）
- ▼申込期間 11月1日（月）～12月3日（金）

【貸費学生】

- ▼試験日 令和4年1月29日（土）
- ▼試験会場 福岡駐屯地（春日市）
- ▼申込期限 令和4年1月14日（金）
- ※自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所では、説明会を随時行っています。
- ※詳しくは問い合わせください。

自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所
（☎0948-22-4847）



困りごと無料巡回相談会

相談員が、本人とその家族の困りごとを、解決に向けて一緒に考え、必要な支援や手続きに繋ぐなどの相談支援を行います。生活全般、子育てや家族の悩みがある人は気軽に相談してください。

- ▼とき 10月6日（水）、20日（水）
①10時30分～12時 ②13時～14時30分
- ▼ところ 添田町役場／要予約
- ☎ 福岡県自立相談支援事務所（☎44-8631）

知っておきたい年金の豆知識

保険料や受給年金が「控除」や「課税」の対象に

●保険料は社会保険料控除の対象

国 民年金保険料は、納付した全額が所得税・住民税の社会保険料控除の対象となります。社会保険料の控除を受けるためには、毎年1月1日から12月31日までの間に支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付した人には「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が10月下旬から11月上旬に日本年金機構から送付されますので、年末調整や確定申告の際に添付してください。なお、10月1日から12月31日までの間に初めて保険料を納付した人には、翌年の1月下旬に証明書が送付されます。また、家族の国民年金保険料を納付した場合も本人の社会保険料控除に加えることができます。

●高齢や退職年金などは所得税の課税対象

老 齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象となります。（障害年金・遺族年金は課税されません。）課税対象となる人には、日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、10月29日（金）までに必ず提出してください。提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税の源泉徴収額が多くなる場合がありますのでご注意ください。なお、年金以外に収入がある場合は確定申告が必要です。

●「扶養親族等申告書」が送付される人

- ① 65歳未満で年金額が108万円以上の人
- ② 65歳以上で年金額が158万円以上の人

離婚時の年金分割制度

離婚した場合、婚姻期間中の厚生年金を分割して、それぞれ自分の年金にすることができます。離婚後2年以内に手続きをする必要がありますが、調停の長期化などの理由によって2年を経過した場合は、調停等の成立日から6か月以内であれば手続き可能です。

出張年金相談

【田川青少年文化ホール／☎44-6470】
▷毎月第1木曜日 10時～16時
【川崎町総合福祉センター／☎72-5244】
▷毎月第4木曜日 10時～16時
※直方年金事務所に要予約。基礎年金番号をお知らせください。
☎ 直方年金事務所（☎0949-22-0891）

健康・相談

いきいきシニア就業相談会

- ▼とき 10月15日（金）10時～14時
- ▼ところ ヨソラホンマチ広場（飯塚市）
- ▼参加定員 50人／要予約
- ☎ 福岡県70歳現役応援センター飯塚オフィス（☎0948-21-6032）

後期高齢者の健康診査と歯科健診

後期高齢者医療広域連合では、被保険者を対象に健康診査と歯科健診を実施します。

【健康診査】

子ども支援オフィス
（☎44-8612）

健康相談

- ▼とき 10月26日（火）10時～12時
- ▼ところ 添田人材開発センター
- ▼内容 日頃の食生活や栄養、健康づくりに関することなど、気軽に相談してください。保健師と管理栄養士が対応します
- ※相談を希望する人は10月25日（月）までに予約してください。
- ☎ 役場保健福祉環境課健康対策係（☎88-8111）

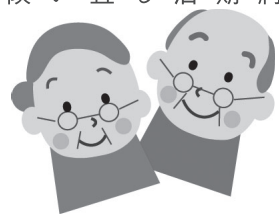
お知らせ

アルコール消毒液の受け取りは10月29日まで

アルコール消毒液は、令和3年5月10日時点で町内に住民票を有する世帯主あてに配布しました。8月中旬までに全世帯へ配布しましたが、不在などの理由で役場へ返送されているものがあります。まだ受け



生活習慣病の予防や早期発見・早期治療を目的として、健康診査を実施しています。被保険者には、5月上旬に受診票とお知らせを送付しています。



- ▼受診期限 令和4年3月31日（木）
- ▼自己負担金 500円
- ▼受診の方法 健康診査の実施医療機関で個別予約して受診
- 【歯科健診】
- 口腔機能低下や肺炎などの疾病予防のため、歯科健診を実施します。対象者には、5月下旬に受診券を送付しています。
- ▼対象者 今年度76歳になる（昭和20年4月1日～昭和21年3月31日生まれ）県内の被保険者

こころの健康相談会

一番つらいときに、つながる。話しているうちに、こころがほつとする。そんな気持ちを感じ

取っていない世帯の人は受け取りをお願いします。

- ▼受取期限 10月29日（金）
- ※受け取りの際、免許証や保険証など、本人確認ができるものが必要です。
- ※受け取りがない場合は、町内の福祉施設や教育施設などで活用しますのでご了承ください。
- ☎ 役場総合企画財政課政策企画係（☎82-5964）

グリーンスローモビリティ実証実験を行います

今年も「グリーンスローモビ

リティ」の実証実験を行います。申し込み不要、無料で乗車できますので、ぜひ利用してください。



- ▼実施時期 10月中旬～下旬
- ▼実施地域 下町・伊原地域、野田地域
- ※運行日時やルートなどの詳細はホームページで確認してください。
- ☎ 役場まちづくり課まちづくり推進係（☎82-5965）

参道を歩きながら楽しむ「英彦山参道マルシェ」

こんにちは。観光事業推進員の高山です。今回は英彦山の秋を感じるのにピッタリなイベントを紹介します。

11月13日（土）14日（日）に英彦山山門前町同好会との共催で「英彦山参道マルシェ」を開催します。銅鳥居から英彦山神宮奉幣殿までまっすぐ続く英彦山の表参道。「昔は参道沿いにはたくさんのお店が出店し賑わっていた。」という地域の方の声を聞き、その原風景を短期間でも復活させたいとの思いから、今回の企画ができました。

当日は、銅鳥居から神宮参道にある土産物店の間には、英彦山ゆかりの品（食べ物・雑貨等）が並びます。紅葉のきれいな時期なので、参道をゆっくりと歩きながら、紅葉狩りと一緒に楽しんでいただきたいイベントです。（詳細は英彦山山門前町同好会 HP、または下記特設サイトからご覧ください。）



☎ 役場まちづくり課観光振興係（☎82-1236）



商品や事業所をPRするチャンスです

ふるさと納税返礼品の
出品事業者を募集中です

町では、ふるさと納税制度を利用した地元特産品のPRや町内産業振興、地域の活性化を目指しています。返礼品に登録されるとWEBサイトなどを通じて、事業者名や商品名がPRされ、ふるさと納税をしていただいた方に返礼品を送ることで販路拡大などにもつながります。また、この制度の返礼品は、地場産品に加え、福岡県が認定する地域資源の出品も可能となっています。登録に関しては、総務省の基準を満たしているかなどの条件がありますので、新たに事業者としての登録や県が認定する地域資源の出品希望がある場合は、問い合わせください。

●県の認定する地域資源

▷辛子明太子 ▷博多和牛 ▷もつ鍋 ▷はかた一番どり ▷はかた地どり ▷水炊き ▷豚骨ラーメン ▷ラー麦 ▷夢つくし(米) ▷元気つくし(米) ▷あまおう(イチゴ) ▷とよみつひめ(イチジク) ▷早味みかん ▷秋王(柿) ▷甘ウイ(キウイ) ▷八女茶 ▷福岡有明のり

☎ 役場総務課総務係(☎82-1231)

町に対し、多くの皆さまから貴重な寄附や寄贈をいただいています。町では、皆さまの温かいご支援を広くお知らせし、感謝の意を表すため、今後寄附や寄贈時に了承をいただいた方を広報紙のお知らせ欄に掲載することとしました(別途広報紙面へ掲載の場合を除く)。なお、ふるさと納税制度を活用した寄附は、町ホームページに別途掲載しています。

お知らせ

福岡県ひとり親世帯等
実態調査に協力ください



福岡県ひとり親世帯等実態調査は、生活実態や要望事項などの把握や、ひとり親家庭等福祉施策の推進を図るための基礎資料にすることを目的とし、5年に1度実施しています。対象世帯へ調査票を郵送しますのでご協力をお願いします。

▼対象 無作為に抽出した母子世帯、父子世帯、養育者世帯

▼調査日 令和3年11月1日現在

▼調査期間 10月25日～11月15日

☎ 福岡県福祉労働部児童家庭課(☎092-643-3257)

労働力調査にご協力を

総務省と県では、毎月、労働力調査を実施しています。この調査は我が国の失業率や雇用の実態を明らかにする重要な調査です。調査対象となった場合は、調査票への記入をお願いします。調査員は必ず福岡県の調査員証を携帯しています。※かたり調査にご注意ください。

▼調査地区 町二行政区

▼調査期間 11月～令和4年3月

☎ 福岡県企画・地域振興部調査統計課(☎092-651-1111)

10月は
臓器移植普及推進月間です

臓器提供へのあなたの意志は、臓器提供意思表示カードや運転免許証、健康保険証の臓器提供意思表示欄への記入で示すことができます。家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、臓器提供について意思を示すことが大切です。

☎ (公財)福岡県メディカルセンター(☎092-432-5577)

結婚を希望する独身者の「運命の出会い」を応援

福岡県では、結婚を希望する独身の人を応援する企業・団体を「出会い応援団体」として登録し、パーティーやツアーなど

の出会いイベント情報をメールマガジン「あかい糸めーる」で配信しています。また、「企業・団体間マッチング支援センター」を設置し、企業・団体の要望に応じて異業種間交流などの開催をバックアップしています。当事業の出会いイベントで出会い、カップルになった人や結婚した人にはお祝いの特典も用意して

います。出会い
応援団体とメル
マガ会員は随時
募集しています。

☎ 福岡県出会い・結婚応援事務局(☎092-733-8202)

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

昨年度は皆さまのご理解とご



ありがとうございました
(敬称略)

協力で153万3710円の募金が集まりました。添田町には11万4565円が配分され、高齢者福祉活動費や障がい者福祉活動費、児童・青少年福祉活動費など地域福祉活動の推進に役立てられています。今年も皆さまの温かいご協力をお願いします。

▼運動期間 10月1日(金)～12月31日(金)

☎ 添田町社会福祉協議会(☎82-2600)

運転免許更新時の申請書作成が自動受付機になります

運転免許更新時に、添田警部交番内にある添田大任地区交通

安全協会窓口で申請書の作成と領収証紙貼付をしています。10月初旬から、試験場に申請自動受付機が導入される予定です。そのため、安全協会窓口では、申請書作成ができなくなります。今まで窓口のご利用ありがとうございました。

※申請自動受付機とは、運転免許証を挿入し、免許更新に必要な本籍や講習区分などの情報を読み取ることで自動受付を行い、申請書類を作成する装置です。

☎ 添田大任地区交通安全協会(☎82-0574)

新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止のため中止

例年、11月開催の「薬師堂大祭」

と「収穫祭」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

【中止となったイベント】

▼上中元寺観光協会主催「上中元寺薬師堂大祭」

☎ 観光協会山本さん(☎090-3798-0648)

▼上津野村づくり推進協議会主催「自然にふれようin津野」収穫祭」

☎ 協議会陣矢さん(☎090-1874-5555)

初めてのスマホ・タブレット体験教室

スマートフォンやタブレットの購入を検討中の人やもっと使いこなしたい人を対象

に、初心者向けの体験教室を開催します。スマホをまだ持っていない人も参加できます。

▼とき・ところ 10月26日(火) 津野公民館、27日(水)彦山総合センター、29日(金)オークホール(いずれも10時～11時)

▼講師 ドコモショップスタッフ

▼定員 各会場15人／参加無料

▼申込期限 10月22日(金)

▼申込方法 電話(先着順)

☎ 役場防災情報管財課情報管理係(☎82-4002)

そえだジョイ休館のお知らせ

館内清掃・設備点検のため

▼とき 11月8日(月)・9日(火)

☎ そえだジョイ(☎82-5600)

○添田町社会福祉協議会へ

▼香典返し ▷那須順子(町三)

▼(故)眞木元太志(町四) ▷(故)原田サヨ子(庄東) ▷(故)奥村友一(庄西)

(令和3年9月14日現在)

○添田町社会福祉協議会へ

▼災害寄贈 ▷第一生命(株)田川営業オフィス永末早苗(田川市) ▷タオル300枚・マスク200枚・ハンドジェル340個ほか ▷(株)タカサキ高崎政弘(北九州市) ▷マスク2千枚

(令和3年8月分)

人の動き

8月末日現在()は前月比

●人口 9,126人(－32人) ●出生 5人
●男性 4,293人(－14人) ●死亡 19人
●女性 4,833人(－18人) ●転入 4人
●世帯数 4,590世帯(－10世帯) ●転出 22人

相談

●心配ごと相談(そえだジョイ／10時～15時)
10月19日(火)、11月2日(火)

●補聴器相談(役場ロビー)
10月8日(金)(15時～)、10月13日(火)(13時～)

●無料法律相談会(福岡法務局田川支局／13時～16時)
10月12日(火)、11月9日(火)

※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。

☎ 法テラス福岡(☎050-3383-5502)

●こころの健康相談(田川保健福祉事務所／予約制)
10月12日(火)(10時～)、28日(火)(14時～)

☎ 田川保健福祉事務所健康増進課(☎42-9307)

●女性の健康相談・不妊相談(福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／予約制)
10月6日(火)、11月10日(火)(13時30分～16時30分)

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係(☎0948-29-0277)

警察署からのお知らせ

8月の事故発生状況()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	2(－5)	89
人身事故	2(+1)	11
死亡者	0(±0)	0
負傷者	3(+2)	18

☎ 田川警察署(☎42-0110)

納期限のお知らせ

●11月1日(月)が納期限です

▷町県民税(3期)

▷国民健康保険税(4期)

▷後期高齢者医療保険料(4期)

☎ 役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)

薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」

10月1日から11月30日までの2か月間は、福岡県麻薬・覚醒剤大麻乱用防止月間です。麻薬、覚醒剤、大麻、シンナーや危険ドラッグなどの乱用は、乱用者個人の心身を蝕むばかりでなく、各種犯罪の誘因となるなど、周りの人の生活にも害を及ぼします。薬物乱用を絶対に許さない社会環境をつくりましょう。

☎ 福岡県保健医療介護部薬務課麻薬係(☎092-643-3287)

昭和36年 町制施行50周年

添田町町制施行110周年となる今年。広報そえだでは110年間の歩みをお知らせしています。今回は、昭和36(1961)年から昭和45(1970)年までの10年間で。

町制施行50周年を祝う記念式典が昭和36(1961)年10月14日、添田中学校で挙行されました。式典では郷土踊りなどのほか、町政功労者や善行者の表彰などが行われました。式典のほかにNHK素人のど自慢大会や野球大会が行われました。特に賑わったのは、10月15日に行われた仮装行列で、各地区から1組20名以上で構成された団体が参加し、家族や知人などの一風変わった姿をみんなで楽しみました。



↑町制50周年のにぎわい
(昭和36年)
↑真夏の成人式の様子
(昭和40年)

昭和36年

4月 町政施行50周年

昭和38年

4月 県立田川商業高等学校創立

昭和39年

10月 オリンピック東京大会開催

昭和40年

4月 西日本鉄道添田発着所(バスターミナル)完成
7月 町営国民宿舎「ひこさん」落成
8月 夏の成人式開催

昭和42年

2月 中央公民館改築工事竣工
3月 添田・庄地区、上水道給水開始

昭和43年

4月 国民健康保険、70パーセント給付実施
7月 郵便番号制度発足

昭和44年

3月 中元寺小学校大敷分校廃校
5月 町立落合へき地診療所開設

昭和45年

3月 日本万国博覧会開会
4月 添田町営こみ処理場、野田に完成
野田・栴田・旧三崎地区、給水開始

広報そえだ 町長室

現在、町ホームページで今年策定したまちづくりの町の基本指針の添田町第6次総合計画(2021-2030)の考え方を録画配信しています。▼皆

現在、町ホームページで今年策定したまちづくりの町の基本指針の添田町第6次総合計画(2021-2030)の考え方を録画配信しています。▼皆様に「まちづくり」を進めていきたいの思いから、地域に出向き膝つき合わせと考えていましたが、コロナ禍という社会情勢であり、録画という方法を取った次第です。▼覧頂いた方もいるかと思いますが、私自身緊張しかつ堅い言葉で話しており、恥ずかしい限りですが、その意が十分伝わったかどうか不安です。まだ、覧頂いていない方は是非、覧頂き、理解を賜りたいと思います。録画時間の制限もある中で、極力分かりやすく心をかけたつもりではありますが、今度、この紙面でもその補足というか、重複するかも知れませんがお話ししたいと思っています。▼この計画の肝は、なんとと言っても合言葉の「みんなでまちづくり」です。▼添田町、高齢化の進展に伴い、自動車の運転が困難な方、体力を必要とする草刈りなど身の回りの生活環境の維持が困難な方や、一人暮らし等による孤独化など、近年はこれらの問題が顕著に見受けられます。▼人口減少に伴う経済の縮小により、徒歩圏内であった身近な商店や、地域と町や周辺都市をつなぐ公共交通など、それらを担ってきた民間業者の撤退による「生活サービスの空白」が生じ、日用品の購入や医療機関の受診など基礎的生活支援サービスの提供を受ける事が困難になってきています。▼また、これまでは「自助」が困難であった住民の方を支え合ってきた、行政区内等の「互助」においても、その担い手であった地区住民の減少や高齢化により、限界を迎えつつある地域が発生し、「互助」による生活支援も低下しています。多様複雑化する社会状況のなか、「地域の困りごと」(基礎的生活支援サービス)も多様化し、それに伴うニーズが増加する方、この課題に積極的に取り組む地域の主体がないという現状もあります。▼町でも「公助」としての、買い物支援や

デマンド交通、タクシー助成、地域商品券の配布などにより、生活維持支援に向けて対応しますが、地域の暮らしを守る取り組みについて、町(行政)主体による「公助」のみで担っていくことも限界に近づいています。▼人口減少が続いていくなかにあつても、この課題に対応するためには、住民の皆さんと町(行政)とが、一緒に連携して進めていく「協働」が重要であり、町民一人ひとりに「自助」と地域の皆さんによる「互助」「町による「公助」に加え、それらの隙間を埋める「共助」という分野が必要であると考えています。▼これは、住民がやる、行政のみがやる、ではなく、行政区等の地域機能を補完するために、地域で活動する方などに加え、町とともに「みんなで地域の暮らしを支えるチーム」により「地域の困りごと」の隙間を埋め、「いつまでも住み続けられる、住みたくなるまち」を造らなければなりません。▼小学校の統廃合、唯の生活店舗であったJA購買所の撤退、自然災害による急激な人口減、交通機関であるJR日田彦山線の新しい交通体系BRTへの変換による個別具体的な危機は取り組みのきっかけになると思います。▼それでは、住民の皆さんは何をすれば良いのか。それは、まず地域の「いま」を共有することです。その中では従来から集まっている「固定メンバー」だけでは「いま」が当たり前のこととなってしまうため、気づかないこともあり。このようなことから、これまでこのような会議に参加していなかった方や地域内に移住してきた方、外部専門家、地域おこし協力隊など地域内外から見た地域への視点や考え方を聞くことが有効だと考えます。▼危機感を共有したただけでは前に進めず、あきらめに繋がってしまう場合もありますが、それを打破しなければなりません。今、その体制づくり等協働による「共助」という分野でのパートナーとして「隙間」を埋める準備を行っています。▼是非注目していただき「いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち」を作るため「みんなでまちづくり」を行っていきましょう。

